

平成 24 年度 シラバス	学年・期間・区分	1 年次 ・ 後期 ・ A 群		
	対象学科・専攻	機械, 電気電子, 電子制御, 情報・都市環境デザイン工学科		
	担当教員	三原 めぐみ (Mihara, Megumi)		
	教員室	一般教育科 3 階 (TEL : 42-9057)		
化学 II (Chemistry II)	E-Mail	mihara@kagoshima-ct.ac.jp		
教育形態／単位の種別／単位数	講義 / 履修単位 / 1 単位			
週あたりの学習時間と回数	〔授業 (100 分)〕 × 15 回			
〔本科目の目標〕 化学的な事物・現象についての基本的な概念や原理・法則に対する理解を深め、科学的な探究心を育成する。				
〔本科目の位置付け〕 中学理科で学習する基本的な知識が必要である。また、内容によっては専門教科における基礎知識も学習する。				
〔学習上の留意点〕 予習復習をすること。「ダイナミック図説化学」は必ず持参すること。また、配布した資料等は必ず目を通すこと。				
〔授業の内容〕				
授 業 項 目	時限数	授業項目に対する達成目標		予習の内容
1. イオンとイオン結合	8	□ イオン、イオンの形成、イオン式とイオンの名称、イオン結合とイオン結晶、イオン化エネルギー、イオン結晶の物質について理解できる。		p.56～62 の内容について、教科書を読んで概要を把握しておく。
2. 金属と金属結合	6	□ 金属と金属結合、金属の性質と利用について理解できる。		p. 8～11、63～65 の内容について、教科書を読んで概要を把握しておく。
－ 後期中間試験 －		項目 1, 2 について達成度を確認する。		
3. 分子と共有結合	10	□ 分子、分子の形成、分子の形、分子からなる物質、電気陰性度と分子の極性、分子結晶、共有結合の結晶、物質の構成粒子と物質の分類について理解できる。		p.66～85 の内容について、教科書を読んで概要を把握しておく。
4. 化学と人間生活	4	□ セラミック、プラスチック、繊維、食料の確保、食品の保存、洗剤について理解できる。		p.12～25 の内容について、教科書を読んで概要を把握しておく。
－ 後期期末試験 －		項目 3, 4 について達成度を確認する。		
試験答案の返却・解説	2	各試験において間違った部分を理解できる。		
〔教科書〕	「新編化学基礎」		竹内敬人他 著	東京書籍
〔参考書・補助教材〕	「ダイナミックワイド 図説化学」		竹内敬人他 著	東京書籍
	「ニューサポート 新編化学基礎」		東京書籍編集部	
〔成績評価の基準〕 中間・期末試験成績(70%)＋平常点(30%)－授業態度(最大 20%)				
〔本科 (準学士課程) の学習・教育目標との関連〕 3-a				
〔教育プログラムの学習・教育目標との関連〕				
〔JABEE との関連〕				

[illegible]